

東京都都市づくり公社 第15回評議員会議事録

- 1 開催日時 平成31年3月27日(金)
午前10時から午前10時40分
- 2 開催場所 京王プラザホテル八王子 4階錦
東京都八王子市旭町1-4-1
- 3 評議員の現在数 17名
- 4 定 足 数 9名
- 5 出席評議員 10名
評議員 浜中 啓一 評議員 藤井 晃 評議員 佐野 郁夫
評議員 小磯 善彦 評議員 伊藤 祥広 評議員 成戸 寿彦
評議員 前田 正博 評議員 上野 淳 評議員 山本 卓
評議員 近藤 秀明
- 6 出席役員数 9名
理事長 大原 正行 理 事 高麗 誠 理 事 坂根 良平
理 事 指田 修 理 事 宗田 隆由 理 事 栗原 修
理 事 大矢 恵一 監 事 山田 潤 監 事 小俣 勝俊
- 7 その他出席者 5名
石橋総務部長、岡田経営改革担当部長、松本区画整理部長、柳下水道部長、
若月事業推進部長
- 8 議 題
第1号議案 平成31年度(2019年度)公益財団法人東京都都市づくり
公社事業計画及び予算について(案)

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数確認及び議長選出

事務局より、評議員総数17名のうち10名が出席し、定足数を満たしていることを報告した。

大原理事長の挨拶の後、評議員の互選により成戸評議員が議長に選出される。

成戸議長が議長以外の議事録署名人について、前田正博評議員及び上野淳評議員を議事録署名人とすることを諮り、了承を得た。

(2) 第1号議案 平成31年度(2019年度)公益財団法人東京都都市づくり公社事業計画及び予算について(案)

石橋総務部長が、平成31年度(2019年度)公益財団法人東京都都市づくり公社の事業計画(案)及び予算(案)について説明した。

議長が意見等の有無を確認したところ、評議員から以下の質問・意見等があった。

(質問1) 都市づくり公社は、東京都や区市町村と一体となって、直面する東京の都市づくりについて、課題解決を目指すべきと考えるが見解を伺う。

回答： 公社はこれまで、区画整理事業や下水道事業など、自治体からの依頼により事業を進めてきた。現在、首都大学東京と共同研究を進めており、少子高齢化など、自治体が抱える課題を把握し、自治体や自治会の協力を得ながら、新たなまちづくりの課題や今までなかった問題について解決策を模索していく取組を行っている。

また、社会問題化している空き家問題についても、東京都と区市町村が設置している協議会に参画しており、公社が取組むべき課題として、アプローチしていく。

産業や福祉など様々な視点から、新たなまちづくりを模索していき、東京の発展や地域の向上に貢献していく。

(質問2) 本年4月から時間外労働の上限を定めた働き方改革関連法が施行される。建設業の働き方改革として、都市づくり公社のこれまで

の取組、今後の取組について伺う。

回答： 適正工期の設定は、作業員の過重労働防止、工事事務防止の観点から、非常に重要と考えている。工期の確保については、できるだけ早期の発注により、工期の平準化を図っている。特に設計業務を可能な限り前倒しし、3月中の準備契約に努めている。工事が難しいもの、困難なものについては、重点工事に位置づけ、上半期に公表を行い、適正な工期を確保できるよう取り組んでいる。

工事担当者の講習については、設計担当者や現場監督員の質を確保するため外部団体の研修にも参加し、適切な設計・施工管理を進めていく。

(質問3) 今後、都市づくり公社の役割・存在感を高めていくための取組について伺う。

回答： 公社ならではの仕事のやり方、質を追求していく。公益財団法人として、しっかりと経営基盤を確立しながらも、公社に委託することで、より良いまちづくりが実現すると言われるような仕事のやり方を更に進め、市町村からの信頼確保に努めていく。

また、新しい分野、新しいまちづくりに挑戦をしていく。具体的には、検討段階であり、首都大学東京とも共同研究を進めているところであり、できるだけ早く、具体的な提案ができるような研究成果をまとめ上げていく。

(質問4) 地域とのかかわりをしっかり行うことで、都民や市民から都市づくり公社の評価もあがり、存在感も高まると思うが、どう考えているか伺う。

回答： これまで以上に地域ニーズをしっかりと把握し、地域から信頼され、愛され、役に立てるような公社となるよう努力を続けていく。

(意見1) 特に都市基盤を担ってきた都市づくり公社だが、今の財政状況、社会状況の中で、都市づくりをどうしていくのか、危機感を持って今後備えてほしい。

(意見2) 都で抱えている大きな問題の一つとして、木造密集市街地の不燃化問題がある。また、いつくるか分からない地震等災害の際、力を発揮するのが都市づくり公社だと思う。その理由は、ノウハウをしっかりと持っている技術者集団であり、東北の震災復興でも技術を活

かした実績を持っている。ここはコアな部分なので、しっかりと対応していただきたい。

(質問 5) 赤字予算の解消に向け、執行段階での具体的縮減策について伺う。

回答： 受託事業を確実に執行し、事務費収益を得る。無用な費用を出さず、業務改善を積み重ねていく。

(質問 6) 事業計画書に、「内部統制体制構築の取組」とあるが、具体的にどのように内部統制を進めていくのか。

回答： 今年度、内部統制に関する規程を制定するとともに、コンプライアンス委員会を設置した。また、内部通報窓口に加え、弁護士による外部窓口を設置し、風通しの良い組織にする取組を進めている。

また、社内規程等の見直しや業務の進め方についても見直しを進めており、引き続きしっかりと取り組んで行く。

説明終了後、成戸議長が裁決を求めたところ、出席評議員全員一致で原案通り可決した。

以上により、東京都都市づくり公社第 15 回評議員会の議事を全て終了し、午前 10 時 40 分閉会した。